

# Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 阿部 信 行 編集責任者 足立 聡 印刷所 東京印刷(株)



## 決定



# 松本 啓氏 次年度会長に！

3月13日（水）国際ホテルに於いて、足立副会長の司会で臨時総会が開催された。

まず、議長に森尾副会長が選出され、阿部会長より次年度会長に松本啓会員を推薦したい、という議案が提出された。会場封鎖を行い、事務局の足立氏により、本人出席ならびに委任状の確認があり、総会の成立を確認し、拍手をもって満場一致で承認された。

松本啓会員（昭和28年生）は、西部青年中央会に在籍12年、また平成6年・7年度と2年連続して、副会長を務められている。多数の行事等に参加され、経験豊富で今後の西部青年中央会の発展に多に期待できるところである。

また、松本次年度会長は「自分なりに職務をまっとうしたい」とコメントされた。我々会員、次年度会長をもちたてて、頑張りましょう。



## 西部青年中央会 インターネット

## WG 始動！

西部青年中央会の外報の場としてインターネットに参加し、地域の声も聞ければと、阿部会長の企画で、インターネットWGが始動した。

WGは2月19日に1回目の会議を行い、西部青年中央会のホームページの青写真と、各分担が決った。情報メディア委員会が技術的な部分の中心となり、昨年実施された企業説明会を引き継いだ経営投資委員会が企業紹介部分を担当し、会の記録・活動などの広報部分を広報委員会が中心となってホームページを構築することになり、各チームは準備段階を経て、3月に入ってから実作業を開始

し本始動をはじめている。

今後の予定は、今期中に基本部分のページを制作・掲載をし、来期にまたがり全てのホームページを作成・掲載する予定である。全てのホームページが掲載されれば160ページ程度のものとなり、他に例のない大ホームページとなる予定であるが、作成の全ての工程をWGの力だけで作り上げていく方向となっており、その前途は容易なものではないと思われるが、着実にホームページ掲載に向けて動き始めている。

## 3月特別例会報告 (オープン例会)

# 衣笠祥雄氏 野球人生語る。

## 「私の野球人生」



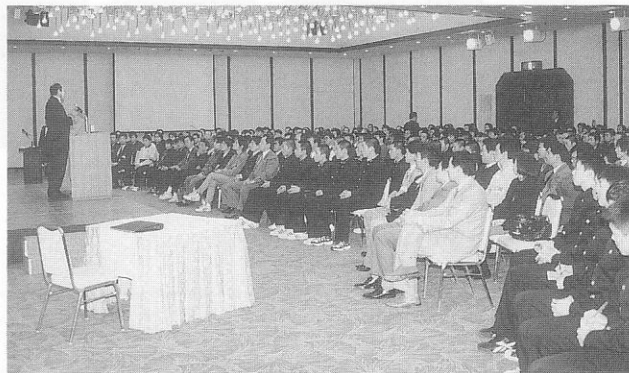
去る3月13日米子国際ホテルに於いて、西部青年中央会3月例会が役員担当により、他団体や学生等広く一般にも参加を呼びかけ、オープン例会として350名の参加を集め、講師にプロ野球・広島東洋カープの元選手でT.B.S野

球解説者の衣笠祥雄氏をお迎えし、「私の野球人生」と題して特別講演会が盛大に開催されました。

開会と同時に現役時代の雄姿を大画面に写し、活躍の場面を振り返って素晴らしい演出により講師紹介が行われ、衣笠氏は17年連続2,215試合出場の記録を達成、引退までに2,543安打、504本塁打、打点王、MVP、ベストナイン、球宴13回出場等数々の輝かしい記録を残し、96年1月に藤田元司氏とともに野球殿堂入りされ、今まで歩んでこられた野球人生について、心を込め熱っぽく講演された。

衣笠氏と野球との出会いは中学生から始まり、当初は仲間が出来た喜びがあり楽しかったが、平安高校に進み野球の中で激しい競争が始まり、体格では到底かなわなかったため、夜遅くまで練習して運動能力を高めポジション争いに勝つしかなかった。練習の中から目標を決めて諦めるなどと言う事を教えられ、甲子園にキャッチャーで出場する事ができた。小学校時代には柔道をやっていたが、作文には高校野球からプロ野球へ行く事を書いていた、どうしてそんな事を書いたのか自分でも判らないが、野球がしたい、今までやってきた事がどこまで通用するか試したかった、そんな思いが一杯で反対する親を説得しプロ野球の世界へ入団した。

初めて自分の時間とお金を持つ事が出来てとても嬉しかった、世の中の散策も忙しく2年間は伸びなかった。実績が上がらないまま何も飛び抜けたものがない自分に気付き、何をセールスポイントにするかを考え、ボールを遠くへ飛



ばす為にはバットスピードを付ける事に一生懸命努力した。プロの世界では走・攻・守三拍子が揃い、試合に出て結果を残さないといけないと言う事に気づき、努力を重ね昭和43年に初めて試合に出場し1年間チャンスを貰った。大スターの山内選手が広島東洋カープへ移籍して来られ、バッティングは本当に難しい事を教えられた、ホームランを同じ21本打った年に嬉しくて、自分は2,000試合・2,000本安打出来るか聞いた処「おまえじゃ無理だ」と言われショックを受けた、悔しさから

15年間で2,000本安打・2,000試合の確固たる目標をあの一言で立てる事が出来たのは本当に幸運であった。

昭和45年までに広島東洋カープは山本、水沼、水谷、三村選手等の入団により若返りが終わり、野球の基本を徹底的にコーチ（広岡、関根、小森）から指導され、伸びるた

めに理論について教育を受けた。ルーツ監督になり優勝する事を目標にそれを毎日言い続けて、昭和50年にチームの執念が実現化された、「勝つと言うことは大きなもの乗り越えなければならず、そこには喜びがある」チームは優勝の喜びを知り、その後5回も優勝できたのは「勝つ事だけを考え、勝つために何の練習をしなければならないか」この事だけを考えていたから、昭和54年日本シリーズでの江夏の21球の時も、昭和61年巨人との優勝争いで連勝した時も不安はまったくなかった。

最後に衣笠氏は自分の野球を通しての生き方が社会人として恥ずかしくない人間になることであり、野球によってこれだけ変わった選手はいないと言われるように「人生を変えてくれた野球に感謝したい」と満面の笑顔で締めくくられ、会場から鉄人の野球人生に対して盛大な拍手が送られた。

これからも更にご活躍されますよう心よりお祈り申し上げます。  
(by塚大)



# 3 月 度 委 員 会 報 告

## 政治行政委員会

平成 8 年 3 月 5 日 (火) 於: 境港 さかゑや  
出席者 / 18 名  
講 師 / 荒井祐二氏  
内 容 / 「境港市の文化行政」について題し、境港市教育委員会  
社会教育課文化係長、境港市文化振興財団、総務兼企画課長(荒井  
祐二先生)を迎え、講演をいただきました。  
1. 「緑と文化のまちづくり」 2. 「文化施設等の現状について」  
3. 「文化振興の方策」 4. 「文化はまちづくりの重点施策」 5. 「行  
政と経済」について御話を聞き、昭和63年に「アメニティ・タウン  
へのアプローチ」と題し、市民グループ(海えん隊)と行政が一体  
となって努力した経緯を聞き、全員が感銘いたしました。  
また二次会は荒井先生と某クラブにて楽しい時を過ごしました。

## 社会文化委員会

平成 8 年 3 月 11 日 (月) 於: 萌葉亜来 (モナーク)  
出席者 / 11 名  
内 容 / 2 月が合同委員会だった為、1 月担当例会の反省及び残  
り 3 か月 (3 回) の委員会活動の方針などを話し合った。

## 地域ビジョン委員会

平成 8 年 3 月 11 日 (月) 於: 米子食品会館  
出席者 / 12 名  
内 容 / 1000 人アンケート実施の計画  
当委員会では、1000 人アンケートと称して、目標 1,000 人の人に合  
併問題についてのアンケートを実施する事になりました。今回はそ  
の実施計画と割り振り等について話し合いをいたしました。当会  
の皆様にもご協力をお願いに参上すると思いますが、その節は、是  
非宜しくお願い致します。

## 経済委員会

平成 8 年 3 月 7 日 (木) 於: 日本トラベルサービス  
出席者 / 16 名  
演 題 / 株式入門  
講 師 / 大山証券米子支店支店長 倉本清明氏  
内 容 / 講演  
株式と言う聞き慣れてはいるが、分かっているようで、分かって  
いない株を、私などにも非常に分かりやすく御説明して頂き、大変  
勉強になりました。

## 経営投資委員会

平成 8 年 3 月 21 日 (木) 於: 米子食品会館

出席者 / 13 名  
講 師 / 岩谷産業(株) 自然産業本部食品部長 中原照夫氏  
(株)さんれいフーズ 専務取締役 松本哲哉氏

演 題 / 中国ビジネス我が社の事例  
岩谷産業株式会社自然産業本部食品部長中原照夫氏に中国ビジネス、  
特に食品産業の実際について、語っていただいた。  
岩谷産業の食品輸入の歴史は古く、又地域も、台湾→中国→ベト  
ナム→ミャンマーへと移り変わり、今では冷凍野菜の輸入では最大  
の実績を誇るまでになっている。  
ここ数年、かなりの投資をしてきたが、ここに来て、中国への投  
資は消極的になってきた。投資する場合も、資金回収の期間を以前  
より早めるような戦略を取っている。  
つづいて、さんれいフーズの松本専務には、「中小企業の直接投  
資は商品リスク、為替リスク等、リスクを回避する技を持たない。  
従って、それなりのフィーを払って、大手商社の力を借りたほうが  
よいだろう。」など、実体験に基づいた、貴重な話をお聞かせいた  
だいた。

## 情報メディア委員会

平成 8 年 3 月 21 日 (木) 於: (株)さんれいフーズ本社  
出席者 / 13 名  
講 師 / (株)さんれいフーズ 山口武夫氏  
内 容 / 受発注システム  
谷口副委員長の(株)さんれいフーズ様のご好意により、業界最先端  
を誇る同社の受発注システムを実演を交え紹介していただいた。現  
場のニーズを取り入れながらすべて自社開発により構築されたシス  
テムは、物流から財務まできめ細かく対応し、膨大なデータを効率  
よく処理しながら営業支援に活用できるという非常に完成度の高い  
ものであり、得るものが多い大変貴重で有意義な委員会となった。

## 広報委員会

平成 8 年 3 月 7 日 (木) 於: 米子食品会館  
出席者 / 16 名  
内 容 / ● 4 月ハンサム打合せ ● 6 月担当例会打合せ

## 総務委員会

平成 8 年 3 月 25 日 (月) 於: 米子食品会館  
出席者 / 19 名  
内 容 / 議事 ①新入会員紹介 (石指智 金田工務店 営業部次長)  
②4 月度リレーション例会開催について  
日時 / 4 月 21 日 (日曜日) 10:00~15:00  
場所 / フィールドアスレチック森の国 (西伯郡大山町赤松1392)  
(雨天の場合は B & G 岸本海洋センター / 西伯郡岸本町)  
ゲーム内容・役割分担等の打合せ

## みどりの会

### 国内研修開催 自由の国 高知に学ぶ

3 月 8 日、青年中央会有志で結成するみどりの会一同 (23 名ブ  
ラス途中乗車 1 名) は、高知を目指し、バスに乗り込み米子を後  
にした。  
車中、早速交流開始。麻雀あり、トランプありのにぎやかな往  
路であった。  
南国インターにて手打ちうどんで腹を満たし、高知県立ふくし  
交流プラザを視察。高齢者と障害者の福祉を推進する拠点施設と  
して、43 億円かけて建設された。このふくし交流プラザは、車イ  
スの人のための上下に可動するグリル部屋、また寝たきりで入浴  
できるバス、更に盲目の人に床に埋め込んだセンサーで声にて誘  
導・案内する装置など、色々見学。避けては通れない高齢化社  
会の福祉について改めて考えさせられた。  
バスはオリエントホテル高知に到着。シャワーで汗を流した後、  
早速夜の部の交流開始。和服姿のコンパニオン嬢を先生に、はし  
拳、菊の花など夜の部の芸能を研修し、大いに盛り上がった。そ  
の後一同、夜の街へ……。  
さて、早朝 5 時 30 分、モーニングコールで起こされ、ボォーと

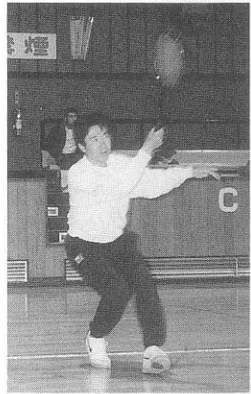


しながらバスに乗り込み、黒潮カントリークラブへ出発。太平洋  
を眺める壮大なコースと絶好のゴルフ日和に恵まれ「ナイスショ  
ット!」の予定であったが結果については触れないでおこう。ちな  
みに、優勝は昨夜 2 時間しか眠っていないと言う安部会員であ  
った。(オメデトウ!)  
さて、観光組と合流した後、バスは一路米子へ。帰りの車中  
も交流は続き、リーチ、ロン、盛り上がりつつ米子へ到着。  
一同、お疲れ様でした。  
(by 足立)

# 突撃同行レポート

## 「花のスマッシュ編」

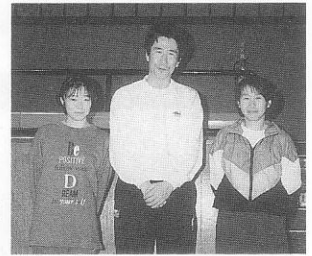
テニスと聞けば、「コートの花」→「若い女性」という風に発想を展開していかれる会員諸氏が多いと思われるが、何を隠そう私もその一人である。今回の取材にあたって、事前の編集会議で誰に取材させるか?という段になり、ただ境港だからという理由で指名された時、「生まれてこの方、やったこと無いんですけど……。」と言いながら、口元がゆるんでいるのを某足立副会長が見逃さず、「野球をやったことがあればできるけん。」とのたまわれて(後で振り返ると非常に根拠のない、発言であったが……)突撃取材とあいなった。



毎週、金曜日午後8時、市民体育館において比較的初心者の同好会で、浜田会員が指導しておられると伺い、前夜の深酒を物ともせず、現地へ向かう。

通常、この時間帯は若い女性と接触する為に、飲めない酒を飲み、

愛想笑いを浮かべ、ましてや高いボトル代まで徴収されてまで、通い詰めるのに、浜田会員はなんと幸せな人であろう? 指導と称して、肩や腰に手を回すなど、軟式テニスとは言え、軟弱な不埒な行動を取れば、ペンをラケットに持ち替えて、きついスマッシュを1本お見舞いしよう。などと血気だけは盛んであった。が、浜田会員、いや指導員は写真をご覧になっているの通り、素晴らしいテニスプレーヤーであった。コートにも立たせて頂いたのだが、親切に教えて下さる。(私の練習中、この日ただ二人だけ来られていた女性会員は何故か帰ってしまわれた。) 高校、大学を通じて、選手として活躍され、境港市テニス協会の役員も務めておられる。えらい、誰にでも出来ることではない。また、プレーする姿に見とれ、20回近くシャッターを押し続けたことをご報告しておく。そしてテニスと聞いて、間違った方向へ発想する我身を呪い、筋肉痛の腕をさすりながらペンを置きます。 合掌。(by 上野)



## 聞いてごしない Part 9

### 「断線」

先日のことである、夕方5時過ぎ仕事も終わり一息付いていると突然事務所が揺れ電気が切れた。一瞬地震かと思いきや事務所を飛び出すとユニックを上げたままのトラックが電線を引っ掛けて止まっており、振り返ると壁から配管が飛び出し電線が垂れ下がり無残な状態をさらしているではないか。とにかく運転手を叱っても仕方がないので、とりあえず近くに電話を借りにいき中電とNTTに連絡した。

中電はすぐに来るとのことであったが、NTTは担当者帰ったので翌日でないと来れないとのことのであった。試しに会社に電話をすると呼び出し音が鳴るではないか。電話が鳴るのに出ないとなれば信用問題になると再度NTTに交渉するが翌日してくれの一点張りである、それを何とか頼み込んでやっと非常呼集をかけて仮復旧してくれることになったときには7時半を回っていた。中電は現場を見て今度は工事屋を呼びしばらく検討をしていたが材料がないので明日でないと直らないとのことで、とりあえず破損箇所の片づけをして、翌日9時にまた来ることとなった。全て作業が終わったときには9時半を回っていた。

それにしても中電とNTTの対応の差には驚かされた。NTTももう少し柔軟な対応を取ってほしいものである。翌日、照明はもちろんコンピュータ、コピー、FAXも暖房も使えません。電話も直通の2本だけなので、電話が掛かる度に電話のところに行かなければならないのです。暖房も家庭用の石油ストーブではなかなか暖まらず、皆がジャケットを着込んで仕事をしていました。得意先からはFAXが入らないと怒られ、コピーやFAXを送るときには近くの事務所に借りに行かなければなりませんでした。やっと昼過ぎに電気が通ったときにはホッとしました。

わずか半日ではあったが電気のない状態では仕事もままならず、あらためて電気の重要さを痛感した出来事でした。(きのこ)

卒業・入学・転勤・入社etc気持ちもフレッシュな春。高校野球で球春も始まり、いよいよプロ野球開幕。衣笠氏の講演の余韻を残して一味ちがった観戦も楽しいのでは。その前に会員諸氏は桜の下かな…。

日時 4月21日(日) 集合9:30  
場所 大山フィールドアスレチック森の国  
担当 総務委員会  
雨天の場合: B & G岸本海洋センター体育館  
(集合場所はアスレチック森の国)  
※出席の有無を4月16日までに返信ハガキにてご回示下さい。

4月定例役員会が4月1日(月)、米子食品館に於いて開催された。当日の主な議題は、次の通り。  
(1) 4月、5月例会(臨時総会)開催の件  
(2) 次年度副会長候補推薦の件  
(3) 県青中ソフトボール大会の件  
(4) その他  
※尚、詳細については各委員長までご照会下さい。

#### 新入会員カルテ

氏名: 石指 智

企業名: (株)金田工務店

血液型: B 生年月日: 昭和34年9月12日

#### 症状及び所見:

この度入会させて戴きました石指です。地方における青年中央会の地位と役割を考えたとき、中小企業との大なるバイパス役、また潤滑油であるために、ある時には積極的なアプローチ、ある場面では、繊細なサポートといった具合に、時代に促した活動が要求されると思います。その中で、皆様と一緒させて戴ける事は、大変嬉しくかつ重く受け止めています。今後、一生懸命頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。



#### 新入会員カルテ

氏名: 武田 壮一郎

企業名: 美保土建株式会社

血液型: O 生年月日: 昭和31年6月2日

#### 症状及び所見:

短かった日差しも長くなり、ようやく春めいてきたこの頃会員諸先輩の方々には益々ご清栄の段、お喜び申し上げます。私、このたび入会のご承認を頂きました武田と申します。まだ、何もわからぬまま例会に参加させて頂いております。今後多くの方々に、英知、友愛、団結の綱領に基づいた御親交を頂きたいと思っております。お見知り置き頂きまして、御指導賜りますよう紙面を拝借して御願ひ申し上げます。

